校長のつぶやき　第８９号「アナログとデジタル」

2023 年９月２６日（火）

今日は午後から西諫早小学校からお二人の先生を迎え、本校の実践を見ていただきました。この視察に併せて長崎市教育委員会からも４名の皆さんが本校の授業の様子を見に来ていただきました。

６年生の社会科では、洛中洛外図屏風から室町時代の文化を探る学習問題の設定の授業でした。子供たちはジャムボードで考えをまとめ、自分や友達の気づきを交流する中で考えを深めていました。

また４年生の図工では「ポーズに着目して作品を鑑賞しよう」という学習で、それぞれが端末を通して４枚の絵を鑑賞し、気づきを交流し合う中で、作品のよさに気づき、作品の見方を深めていました。

視察の先生方は、本校の子供たちのスキルの高さや、文字入力の速さに驚かれていて、特別にスキル向上の時間をとっているのかというご質問をいただきました。研究主任の回答としては、本校では特設した時間は特にとっておらず。授業の中で、いろいろなやり方を伝えその都度子供たちが身に付けて積み重ねていったとお伝えしました。最近では、教員が子供たちから効率的な操作について教えてもらうこともあるほどですということも付け加えていました。

まずはやらせてみる、そして問題があればそこでみんなで考えるという姿勢が、本校のスタンスです。

お客様に見てもらい、ご感想やご意見をうかがうことで、本校の目指す教育がより明確になってくることがわかりました。今後も学校をしっかり開いていきたいと思います。